



### 米軍ヘリ窓落下事故を受け、現場を視察しました。

去る12月13日、米軍CH-53Eヘリの窓が普天間第二小学校グラウンドへ落下する事故が発生し、12月定例会一般質問を中断して全議員で現場確認を行いました。事故現場において関係者から事故の経緯等について報告を受けました。

ぎのわん 第106号

# 市議会だより

宜野湾市野嵩一丁目1番1号  
電話 (098) 893-4411 (内337)  
印刷 新星出版株式会社

宜野湾市議会

### 米軍ヘリコプターの窓落下事故に対する県外要請を行いました!

米軍CH-53Eヘリコプターの窓が普天間第二小学校グラウンドへ落下した事故を受け、議長、副議長、基地関係特別委員長及び関係議員が沖縄及び北方対策担当大臣、防衛大臣及び外務副大臣等に事故原因の徹底究明及び原因公表までの間の普天間飛行場所属全機種飛行停止等を要請しました。



小野寺五典防衛大臣に事故に関する意見書を手交する議長及び議員

#### 定例会の経過

11月	28日	議会運営委員会
	5日	案件上程、説明
12月	7日	上程案件に対する質疑、委員会付託 議会運営委員会、基地関係特別委員会
	8日	議会運営委員会、各常任委員会審査
	11日	基地関係特別委員会、各常任委員会審査
	13日	基地関係特別委員会
	13日~15日 18日~21日	一般質問(質問者21人)
	14日	議会運営委員会、基地関係特別委員会、 経済建設常任委員会
	15日	中間表決(委員長報告)
	18日	総務常任委員会
	20日	議会運営委員会
	22日	各常任委員会の審査報告及び表決

下水道事業に地方公営企業法の全部を適用し、上下水道の組織を統合することに伴う関係条例の整備に関する条例を全会一致で可決しました!!

## 12月定例会

会期  
12月5日~12月22日

第410回宜野湾市議会定例会は、12月5日から12月22日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会は、職員定数条例の一部を改正する条例、手数料条例の一部を改正する条例、下水道条例の一部を改正する条例を含む30件にわたる議案等が審議され、21人の議員による一般質問も行われました。

# 米軍CH-53Eヘリコプターの窓落下事故に対する取り組みについて

## CH53Eヘリコプターの窓落下事故に対する県外要請行動

去る十二月十三日に普天間第二小学校グラウンドへ普天間基地所属のCH53Eヘリから重さ約七・七キログラムの窓が落下した事故を受け、同月十五日に基地関係特別委員会より「米軍CH53Eヘリコプターの窓落下事故に対する抗議決議及び意見書」が提案され、それぞれ全会一致で可決された。議決後、県内関係機関（四力所）へ直接要請を行った。

また、同月二十五日から二十六日までの日程で、議長、副議長、基地関係特別委員長及び関係議員が沖縄及び北方対策担当大臣、防衛大臣、外務副大臣等に直接要請を行った。

議長からは、米軍による事件や事故が多発しており、人命に関わる事故が懸念されることから、普天間飛行場の全所属機の飛行停止とともに同飛行場の運用停止について要請がなされた。



普天間第二小学校に落下した重さ約7.7キログラムの窓枠



江崎鐵磨沖縄及び北方対策担当大臣に意見書を手交する議長及び議員



佐藤正久外務副大臣に意見を手交する議長及び議員



山口那津男公明党代表に要請を行う議長及び議員

### 米軍部品落下事故に関する経緯

年月	概要
平成29年 12月13日	■午前10時08分 CH-53Eの離陸直後、上底63cm、下底86cm、高さ90cm、重さ7.7kgのヘリのアクリル製窓枠が落下
	■午前10時09分 学校関係者から110番通報。児童が負傷との情報
	■午前10時45分 宜野湾市消防が現場到着。放射線測定の結果、0.08マイクロシーベルトを検出。基準値以下であることを確認
	■午前10時55分 市基地渉外課が沖縄防衛局から事故の連絡を受ける
	■午前11時35分 宜野湾市議会（全議員）及び宜野湾市長が現場到着
	■午後 1時35分 宜野湾市議会全員協議会を開催。市長より説明を受ける
12月15日	■宜野湾市議会が「米軍CH-53Eヘリコプターの窓落下事故に対する抗議決議」を議決
	■宜野湾市議会（全議員）が在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長へ要請行動を行う
12月18日	■市PTA連合会から市長及び市教育長へ要望書が提出される
12月19日	■米軍が事故原因と再発防止策を発表
	■米海兵隊政務外交部長ダリン・クラーク大佐が普天間第二小学校を訪問・謝罪
	■CH-53Eヘリ飛行再開
12月25日 ～26日	■議長、副議長、基地関係特別委員長及び議員が県外関係機関へ要請を行う
	平成30年 2月5日

### 米軍 CH-53E ヘリコプターの窓落下事故に対する抗議決議

去る12月13日午前10時9分ごろ、米軍普天間基地所属のCH-53Eヘリコプターのコックピットの窓が、児童54人が体育の授業を受けている普天間第二小学校のグラウンドに落下し、4年生の男児1人が落下の風圧で飛んできた小石が当たりすり傷を負うといった重大事故が発生した。

落下した窓は四方約90センチ、重さ約7.7キログラム、窓枠は金属製でできており、一歩間違えば人命に関わる深刻な事故であり、未来を担う子ども達が1日の多くを過ごす安全であるべき学校施設で起きた事故に、児童や保護者、学校関係者に与えた精神的な衝撃は計り知れない。また、事故後も被害者等への謝罪や原因究明もなされないまま住宅地上空を飛行し続ける米軍の安全軽視の姿勢に激しい憤りを覚えるものである。

去る7日にも、同型ヘリのもので見られるプラスチック製の円筒の部品が、宜野湾市野嵩にある緑ヶ丘保育園の園児約30人が遊ぶ園庭のすぐ側のトタン屋根の上に落下しており、立て続けに発生した重大事故に、園児や児童、その保護者を初め、学校関係者や地域住民には不安と怒りが大きく広がっている。まちのど真ん中に「世界一危険」といわれる普天間基地を抱え、常に命の危険と隣り合わせの生活を余儀なくされている宜野湾市民の不安と恐怖、米軍に対する不信任は頂点に達している。

本市議会としても、相次ぐ事故やトラブル等に対し、原因究明と再発防止策の徹底を再三再四強く申し入れているにも関わらず、効果のある防止策が講じられることなく、またしてもこのような重大事故が起きたことに対し、激しい怒りを禁じ得ない。

よって、本市議会は市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、今回のCH-53Eヘリの窓落下事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

#### 記

- 1.被害を受けた児童や保護者、学校関係者に謝罪をすること。
  - 2.事故原因を徹底究明し、速やかに公表するとともに、公表されるまでの間の飛行を停止すること。
  - 3.実効性のある再発防止策を講じ、実施状況を明らかにすること。
  - 4.普天間基地の1日も早い閉鎖返還と5年以内の運用停止を実現すること。
  - 5.日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 以上、決議する。

平成29年12月15日

沖縄県宜野湾市議会

抗議決議：駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、在沖米国総領事  
意見書：内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣  
沖縄基地負担軽減担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長

# 12月定例会 主な議案審議経過

## 平成二十九年宜野湾市一般会計

### 補正予算(第三号)

**可決**

予算の主な内容は、沖縄子ども貧困緊急対策事業費の内示額の決定や、ぎのわん車いすマラソン大会の廃止、認可保育園創設及び施設整備事業の事業年度の変更等により、総額を四億六千九百九十九万円を減額補正するものである。

議案審査においては、認可保育園創設及び認可保育園施設整備事業の減額理由について質疑がなされ、それに対し、平成三十年四月一日開園に向け、創設三園、増改築三園の計六園を予定していたが、単年度での事業完了が困難となり、国との協議を経て創設二園、増改築三園の計五園を二年事業へ切りかえ、保育の受け皿確保に努めてまいりたいとの答弁がなされた。

また、小学生を対象とした通塾の学習支援事業や、若者の居場所づくりに係る委託料の減額理由について質疑がなされ、これに対し、内閣府へ当該事業の申請をしたものの、事業認可が下りず事業が執行できなかったとの説明がなされた。

そのほか、社会保障・番号制度システム整備事業に係る国庫補助の増額理由や第三次包括的ITアウトソーシング事業の進捗について、農業次世代人材投資事業を活用した新規就農者の育成についても多くの質疑がなされた。

本件の採決に当たっては、八名退場のもと、全会一致をもって原案のとおり可決された。

## 平成二十九年宜野湾市下水道事業 特別会計補正予算(第二号)

**可決**

予算の主な内容は、人事異動や雨水排水路の工事による委託料の増加等により、総額六千五百九十九万九千円を追加補正するものである。

議案審査では、大山雨水排水路内部に剥離が発生していることに関し、改修工事までのスケジュールについて質疑がなされ、補助メニューの要件であるストックマネジメント計画を平成三十一年度までに作成し、平成三十三年度から改修工事を行う予定であるとの説明がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致で原案のとおり可決された。

## 宜野湾市手数料条例の一部を改正する 条例について

**可決**

議案の主な内容は、平成三十年四月より居宅介護支援事業所の指定権限及び介護予防・日常生活支援総合事業の指定権者が県から市へ移譲することに伴う申請や更新の審査手数料の額を定めるため条例の一部を改正するものである。

議案審査では、居宅介護支援事業所の指定権限移譲の利点について質疑がなされ、これに対し、居宅介護支援事業所のケアマネージャーと積極的に関わり、関係性を築くことでよりよいケアを実現することができるとの説明がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致で原案のとおり可決された。

## 福祉教育常任委員会の学校給食視察

教育委員会より「全国学校給食週間」に向けた取り組みとして学校給食状況視察(学校訪問)を実施するに当たり、議長及び福祉教育常任委員会の委員が児童・生徒とふれあいながら、学校給食の意義と役割について理解と関心を深めた。また、学校給食の実情を把握し、今後の学校給食の充実、発展に役立てられるよう視察、懇談を行った。

視察校及び日程  
 ◇宜野湾小 1月26日  
 ◇大謝名小 1月29日



## 第三回「市民との意見交換会」開催について

本市議会では、これまで2回の意見交換会を開催し、そこへいただいた意見をもとに、十四件の政策提言を行いました。次回は平成三十年五月頃の開催を予定しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

# 一般質問

今定例会は、21名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を市民図書館や議会事務局に保管しています。さらに、市議会のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

議会中継放送のURL  
<http://www.ginowan-city.stream.jfit.co.jp/>  
※録画放送は会議の3日後を目安にご覧いただけます。  
スマートフォンをご利用の方は  
こちらからご視聴いただけます。



## 答弁者

○市	○副	○教	○水	○総	○企	○基	○福	○健	○市	○建	○教	○指	○消	○選
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
佐喜眞 淳	松川 正則	知念 春美	和田 敬悟	米須 良清	国吉 孝博	鈴木 宏治	比嘉 透	比嘉 直美	伊波 保勝	古波 晃	島袋 清松	甲斐 達二	浜川 秀雄	喜瀬 昭夫

議会会議録検索システムのURL  
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/ginowan/ginowan.html>  
※12月定例会の会議録の内容は2月26日(月)頃に掲載を予定しております。



### キャン普瑞慶覧(西普天間住宅地区)埋蔵文化財の活用及び大型駐車場整備について



呉屋 等 議員

◎議員 今年度発掘された普天間旧道跡を指定または登録文化財として保存できないか。

◎教育部長 緊急性や保存価値などを総合的に勘案した上で、今後検討してまいります。

◎議員 普天間旧道跡を一部でも保存し、トロッコ列車等の復元も行うなど、発掘した文化財の展示施設を新たに設置し、文化財の保護や、教育、観光振興に役立ててはいかがか。

◎教育部長 文化財の積極的な活用や、公開は重要と考えており、跡地利用計画の中で実施できるか関係部署と調査研究してまいります。

◎議員 今後の西普天間住宅地区の発展を考えると大型駐車場の整備は必要である。そこで、県道八一号線と西普天間住宅地区との高低差を利用し、立体駐車場を整備してはいかがか。

◎基地政策部長 新たな街の形成により周辺市街地の活性化も期待される一方、商業地での駐車場不足が課題となっている。経済効果や財源を踏まえ、関係部署と連携し、調査研究してまいります。

### その他の主な質問

- ・拉致問題啓発舞台劇の開催について
- ・普天間高校移転に関する沖縄県の取り組みについて
- ・待機児童解消及び保育士の確保について
- ・空き店舗対策事業のさらなる取り組みについて

### 小中学校の防犯及び安全対策について



比嘉 憲康 議員

◎議員 市内幼稚園及び小中学校へ百四十五台の防犯カメラを設置しているが、防犯対策はこれで十分と考えているのか。

◎指導部長 防犯カメラだけではなく、PTAの力や見守りなどの活動等も必要である。

◎議員 今年四月に「ツイタもん」を導入した宜野湾小学校の校長や保護者からも好評価を得ている。そこで、教育委員会が各学校へ当該システムの導入を呼びかけてはいかがか。

◎指導部長 児童生徒の登下校の確認ができ、設置費用が無料であることは評価できるが、事業者を一社に限定することは選定の公平性に欠くほか、保護者の意見を伺う必要があることから、呼びかけは難しい。各学校で保護者と話し合い、導入を判断していただきたいと考える。

◎議員 本市が初めて導入し、すでに県内十四校で導入済みである。子供たちのために全小中学校へ早目の導入をお願いしたい。



「ツイタもん」のICタグを付けたランドセル

平和・基地行政について



屋良千枝美 議員

○議員 普天間第二小学校にCH53Eヘリの窓が落下する事故が発生した。事故に対する米軍等の対応について伺いたい。

○基地政策部長 米側からの情報として、防衛局よりヘリの窓が落下したとの連絡を受け、外務省沖縄担当大使と防衛局長が来庁した。

○指導部長 全職員で現場の安全確認を行った後、全体集会にて児童に落ち着いて行動するよう伝え、給食後に下校の指導を行った。

○議員 オスプレイや大型ヘリの飛行訓練がそのまま続けば人命にかかわる大事故が起きる恐れがある。このような危険な普天間基地を即時閉鎖することが市長の責務ではないか。

○市長 事故が二度と起こらぬよう、安全管理や原因究明などを米軍に対し強く求めてまいりたい。市民大会は状況を踏まえ、検討してまいりたい。

○議員 守るべきは市民の暮らしである。市長はそのことを真摯に受けとめ、海兵隊を県内から撤退するよう働きかけていただきたい。

その他の主な質問

- ・認知症高齢者の支援について
- ・教育振興基本計画における芸術文化活動の推進について
- ・空き家対策事業の取り組みについて

水道局と下水道課の組織統合について



知名康司 議員

○議員 組織統合に当たり、水道局の側にプレハブを設置することだが、設置場所や時期広さ、費用について伺いたい。

○水道事業管理者 水道局庁舎と国道三三〇号の間に、広さ八十平米で一階建てのプレハブを建設予定で、来年三月に完成を見込んでいます。また、五年間で二千万円のリース契約を予定している。

○議員 プレハブの設置場所に池と黒木があるが、その取り扱いについて伺いたい。

○水道事業管理者 黒木に関しては、教育委員会と協議の上、樹木の少ない市立学校へ寄贈し、池は現状のまま残す予定である。

○議員 水道局と下水道課を統合することで、窓口手続はどのように改善されるのか。

○水道事業管理者

窓口の一元化により、事務の処理速度や窓口対応の質が飛躍的に向上するメリットがある。

○議員 組織統合することで、市民サービスのさらなる向上に取り組んでいただきたい。

その他の主な質問

- ・普天間高校の移転に関する取り組みについて
- ・景観条例によるまちづくりの取り組みについて
- ・都市計画道路（仮称）真栄原・真志喜線の進捗について

11番の家について



宮城勝子 議員

○議員 こども一〇番の家の指定理由とその数について伺いたい。

○市民経済部長 子供が誘拐や暴力、痴漢など何らかの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めるとともに、警察、学校、家庭などの関係者へ連絡し、地域ぐるみで子供たちの安全を守るボランティア活動である。宜野湾警察署が委嘱し、市内に三百七十一カ所を指定している。

○議員 セーフティーツアーinハロウインの事業内容と成果について聞きたい。

○指導部長 ハロウインの行事と絡め、通学路にあるこども一〇番の家を訪ね回り、場所やその家の人を知る目的で開催した。子供や保護者がこども一〇番の家を知ることができたほか、保護者と地域がより深く関わり、自治会加入促進にも寄与できた。

○議員 関係団体に敬意を表するとともに、市民みなで児童の安全を守り、健やかな成長を見守ってまいりたい。

その他の主な質問

- ・市道宜野湾11号の信号機設置計画について
- ・佐真下公園前交差点の改良について
- ・普天間1区地域の住宅密集地の改善に向けた取り組みについて

交通安全対策に関する取  
り組みと対応方について



桃原 朗 議員

◎議員 交通安全対策に関する地域からの要望、要請に対して市はどのように対応しているのか。また、要請件数及び対応方についても伺いたい。

◎市民経済部長 地域や学校から交通安全対策に関する要望等があった場合、市長から宜野湾警察署長へ要請を行い、その後、宜野湾署から沖縄県公安委員会に上申する手続きとなる。平成二十八年度は、横断歩道の設置及び路面表示等の補修が三件、信号機の設置・改善が二件、一方通行の一部廃止や駐車禁止地区の指定など、全十四件の要請を行った。

◎議員 普天満宮前の三差路は、伊佐方面から宜野湾市役所向けに右折する場合、反対車線である石平方面から来る対向車が中央分離帯に設置された柵のため見えづらく、スムーズに進行できない状況である。ぜひ、矢印付きの信号機を設置していただきたいが、いかがか。

◎市民経済部長

宜野湾署と現場確認を行い、必要に応じて要請してまいりたい。

その他の主な質問

- ・保育行政について
- ・市道宜野湾11号の進捗状況について
- ・キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）跡地利用計画について
- ・水道局と下水道課の組織統合について

キャンプ瑞慶覧(西普天間  
住宅地区)跡地利用計画に  
ついて



桃原 功 議員

◎議員 普天間高校移転に伴う用地取得が十一月時点で一%未満である理由を伺いたい。

◎基地政策部長 事業主体である沖縄県からは、地権者からの申し出が少ないためと伺っている。

◎議員 国、県、市、地権者で構成される地元協議会ではどのような協議がなされたのか。

◎基地政策部長 琉球大学や普天間高校移設の進捗状況等の報告がなされ、支障除去措置の方針や跡地利用計画スケジュール等が協議された。

◎議員 琉球大学に八・一ヘクタールの保留地を充てる予定と伺ったが、普天間高校へも保留地を充てるのか伺いたい。

◎基地政策部長 全体で八・四ヘクタールの保留地を見込んでいるが、普天間高校用地へ保留地を充てる予定はない。

◎議員 琉球大学の移転には保留地が充てられ、普天間高校には充てられないのは公平性に欠けるのではないか。用地取得は県の事業であるが、地元である市も協力して事業を進めていただきたい。

その他の主な質問

- ・真志喜消防署隣の市有地の利活用に関する基本的な考え方について
- ・市立幼稚園の開園時間の変更について
- ・アンカー商事前道路（市道新城16号）の街路樹の管理について

コミュニティ・スクールの  
導入について



米須 清正 議員

◎議員 去る八月三十日の総合教育会議において、次年度からはごろも小学校と宜野湾中学校をモデル校としてコミュニティ・スクール制度を導入することが提案されたが、コミュニティ・スクール制度の内容についてお伺いしたい。

◎指導部長 コミュニティ・スクールとは、運営協議会が設置された学校のことで、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを学校と地域や保護者が共有し、力を合わせて地域と共に学校運営に取り込む制度である。

◎議員 次年度から導入モデル校に選定されている二校の取り組みとスケジュールを伺いたい。

◎指導部長 学校運営協議会発足に向け、モデル校との事前協議、運営協議会規則の制定、委員の選定等に取り組みでまいりたい。

◎議員 運営協議会の委員構成を伺いたい。

◎指導部長 一校十名程度を想定している。

◎議員 自治会加入促進等への波及効果に期待したい。

その他の主な質問

- ・長田小学校・幼稚園の教育環境の整備について
- ・高齢者の免許証返納に向けた取り組みについて
- ・産業まつりの会場変更に伴う効果について

### シルバーパスポート事業の取り組みについて



平良 眞一 議員

◎議員 利用可能施設数について伺いたい。

◎健康推進部長 市立体育館のトレーニングルームやサンフティーマ、天然温泉アロマ、カラ

オケ施設等、現在十二カ所で利用可能である。

◎議員 利用可能施設の拡大は検討しているか。

◎健康推進部長 民間施設や市主催イベントでの活用等、外出支援や生きがいづくりに活用できるよう取り組んでまいりたい。

◎議員 大変いい事業であると考えるが、クーポン券を利用できる事業所の場所に偏りがあるように感じるが、いかがか。

◎健康推進部長 新規事業者への働きかけができていないため、今後はホームページや市報を通して事業所へ広報を行うなど、周知に努めてまいりたい。

◎議員 当該事業は、高齢者が外出する機会をふやすことを目的としている。最近、スーパーやコンビニ等も各行政区にあることから、新規事業者の拡大に取り組んでいただきたい。

#### その他の主な質問

- ・ふるさと納税の取り組みについて
- ・普天間未来基金の取り組みについて
- ・特定健康診査受診率向上事業の取り組みについて

### 嘉数高台公園における桜の植樹の経緯と今後の取り組みについて



伊佐 哲雄 議員

◎議員 去る十一月に嘉数高台公園で八十本の桜の植樹があった。それに至った経緯について説明いただきたい。

◎建設部長 はごろも緑化会が宜野湾海浜公園等指定管理者となり、平成二十五年に公益団法人沖縄県緑化推進委員会の緑の募金公募事業補助金等を活用して、公園愛護会、嘉数自治会の方々と連携して、桜や花の苗木の植え付けを実施したのが始まりと聞いている。今年度は「嘉数高台公園桜の名所づくり事業」として、本市観光振興協会が本市緑化推進協議会からの「りゅうせきびたエコカード事業」に認定され、桜の苗木八十本の植樹に至っている。

◎議員 ことし三月の議会では、展望台付近の自然石タイルの補修を次年度予算で検討すると答弁されていたが、計画はどうなっているか。

◎建設部長 今年度中に段差がなくなるように実施したいと考えている。

◎議員 利用者が、つまずかないよう補修していただきたい。

#### その他の主な質問

- ・ごみ減量化に向けた取り組みについて
- ・創作市民劇の開催状況と今後の取り組みについて
- ・学童保育の待機児童数と指導員の処遇改善について

### 市役所駐車場の拡張整備について



上地 安之 議員

◎議員 本庁舎の来客駐車場保有台数は百二十台であるが、約九万八千人の人口規模からして需要は満たされているのか。また、他市と比較してどの程度なのかお聞きしたい。

◎総務部長 県内十一市の来客駐車場保有台数を人口で割ると、本市は那覇市、石垣市に次いで保有台数の少ない庁舎となっている。

◎議員 本庁舎は、築三十五年が経過する中で改修工事を行い、今後十五〜二十年間は現庁舎で行政サービスを継続していくことになるが、駐車場台数が少なすぎる。来客駐車場の拡張整備をどのように進めていくのか伺いたい。

◎総務部長 市庁舎耐震改修事業を行う中で、あわせて来客駐車場の拡張整備も検討するが、平面駐車場整備(八十八台増)で三千四百円程度、立体駐車場整備(六十八台増)で四億一千万円程度の見積りとなっているため総合的に判断してまいりたい。

#### その他の主な質問

- ・キャンプ瑞慶覧における普天間高校、琉球大学等の用地取得の取り組みについて
- ・倉敷環境の産業廃棄物処分業等の許可取り消しによるゴミ問題への対策について

就学援助(入学準備金の入  
学前支給)について



玉城健一郎 議員

◎議員 就学援助の申請から支給までのスケジュールについて伺いたい。

◎指導部長 四月から五月にかけて就学援助の周知と申請希望の有無を確認の上、希望者へ必要書類を配布している。前年分の収入が決定する六月から受け付けを開始し、教育委員会での審査を経て、九月に認定可否の結果を通知している。支給は十一月と翌年の三月の二回に分けており、認定された生徒の保護者が指定した口座へ振り込むことになっている。

◎議員 入学準備金は入学前に支給すべきであり、早急に対応する必要があると思うが、どのように考えているか。

◎指導部長 新入学児童生徒学用品費等の保護者の経済的負担軽減のため、早期支給が必要であると考えている。段階的に実施できるように、平成三十一年度新中学一年生となる小学六年生を対象に、平成三十年予算を要

求し、平成三十一年二月から三月に支給できるように取り組んでいる。

その他の主な質問

- ・犬猫殺処分ゼロに向けた取り組みについて
- ・居住サポート事業の導入について
- ・保育施策について
- ・県外に住む学生の不在者投票について
- ・公園整備について

喜友名にあるチューンナー  
ガラの簡易水道としての  
今後の利用について



知念秀明 議員

◎議員 チュンナーガラの所在地は都市公園を整備することで決定しているが、公園となった後も引き続きチューンナーガラを簡易水道として利用する際の制限や条件について伺いたい。

◎教育部長 湧水の水量が維持され、文化財としての価値を損なわれないことが利用条件となる。現在の取水方法は水量や水流に配慮されたものとなっており、引き続き簡易水道として利用することに特に問題はないと考えている。

◎議員 喜友名は戦前からずっとチューンナーガラの水を利用していたが、戦後、米軍基地となり、その水が使えなくなった。生活する上でその水をどうしても使わないといけないため、水を取水するためにポンプ小屋を作って水を揚げている。その後、国の重要文化財になった後も

国に伺いを立てて取水している。そういったことを時系列で考えると、使わせない理由がどこにも見当たらない。引き続き水源として利用できるように、早目の回答をお願いしたい。

その他の主な質問

- ・住宅リフォーム支援事業の導入について
- ・普天間中学校裏の喜友名公園整備計画について
- ・小中学生の修学旅行に対する補助金について
- ・安仁屋地区の拝所の移設について

学校における虫歯予防対策について



山城康弘 議員

◎議員 以前の一般質問にて、虫歯予防に効果のあるフッ化物洗口の学校での導入を提言したが、その後の取り組み状況を伺いたい。

◎指導部長 フッ化物洗口導入に向け、大謝名小学校をモデル校に指定し、学校歯科医、大謝名小学校、教育委員会を中心に検討を重ねてきた。七月の校長会において説明を行い、八月に同校教職員、十一月に保護者向けの説明会を開催したところである。

◎議員 今の説明からすると導入するという認識でよいか。そうであれば実施時期についても伺いたい。

◎指導部長 平成三十年一月から水を使ったくぐくぐがいの練習を開始し、二月から本格実施を予定している。実施については、週一回木曜日、朝八時二十分から全学年を対象に行う予定である。

◎議員 フッ化物洗口によって子供たちの歯の健康を保っていただけるので、本当に安心していい。市当局の決断に敬意と感謝を申しあげたい。

その他の主な質問

- ・子どもの貧困対策の取り組みについて
- ・認知症対策の取り組みについて
- ・上大謝名にある文化財「黄金宮(くがになー)」の整備について

### 公用車へのドライブレコーダー導入について



伊波一男 議員

**◎議員** 宜野湾市の公用車にドライブレコーダーを設置し、一件でも事故を減らすとともに、あおり運転等に巻き込まれないようにする。また、事故に遭ったときでも、しっかりとどこが悪かった、何が悪かったとわかることから、ぜひ、ドライブレコーダーを導入していただきたいが、いかがか。

**◎総務部長** 本市においては公用車による事故が多発していることから、公用車にドライブレコーダーを搭載することで、運転手の安全意識を向上させ、事故の抑制につなげたいと考えている。今後必要な予算や導入する車両について、先進事例も研究しながら、導入に向け検討してまいりたい。

**◎議員** ぜひ、職員による事故が起きないということが大前提になるものと考えている。また、女性職員の方々も、地域住民のところに伺うことが多くあるものと考えており、一つ一つ取り組みをしていただくようお願いしたい。

#### その他の主な質問

- ・生活困窮者自立支援制度について
- ・市民図書館における「読書通帳」または「読書手帳」の導入について
- ・一般住宅用火災警報器の設置について
- ・産婦健康診査（産婦健診）について

### 西海岸地域への期日前投票所の設置について



宮城 司 議員

**◎議員** 期日前投票者数の割合が高い地区、低い地区について伺いたい。

**◎選挙管理委員長** 高い地区が、野嵩一区、野嵩二区、愛知区、中原区となっており、低い地区が、嘉数区、嘉数ハイツ区、真志喜区、宇地泊区、大謝名区、上大謝名区となっている。

**◎議員** 衆議院解散総選挙を終え、選挙管理委員会では今後の期日前投票のあり方についてどのように協議がなされたのか。

**◎選挙管理委員長** 今回は、期日前投票制度が平成十六年に始まって以来、最も多い投票者数となった。しかし、台風二十一号の影響が大きくなり、これまでの選挙と比較できないとの意見もあり、引き続き検討することとなっている。

**◎議員** ふえ続ける期日前投票に、駐車場や別業務とのバッティングなど、現在の庁舎や体制では対応できないものと考えている。有権者の投票機会として、利便性の不均衡を解消するためにも、期日前投票所の西海岸地域への設置が必要と考えている。

#### その他の主な質問

- ・死亡時の行政手続きを一元化した「おくやみコーナー」の設置について
- ・市所有マイクロバスの必要性について
- ・シルバーパスポートの利用促進に向けた取り組みについて

### 子どもの読書活動推進計画の策定及び児童生徒の読書活動について



岸本一徳 議員

**◎議員** 子供の読書はなぜ大事なのか。本を読むことでどのような成長とメリットがあるのか。

**◎指導部長** 子供の読書は全ての教育活動の基本であり、子供の豊かな心をつくる。

**◎議員** 子どもの読書活動推進計画で、ブックトーク事業を実施しているのか。

**◎教育部長** 同事業は実施していないが、各校の同様な取り組みをサポートしてまいりたい。

**◎議員** 真志喜中学校の読書活動、読書冊数が多い理由について、その秘訣をお聞きしたい。

**◎指導部長** 読書を重点目標と捉え、学校全体で取り組んできた成果であると把握している。

**◎議員** 同計画を一年間延長し、次期計画策定の検討を提案したが、今後の進め方を伺いたい。

**◎教育部長** 第二次子どもの読書活動推進計画の策定に向け進めてまいりたい。

**◎議員** 学校図書館や市立図書館を中心に策定していただきたい。

**◎教育部長** 計画策定に係る検討委員会等の立ち上げも含め、協議を深掘りして検討したい。

#### その他の主な質問

- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
- ・交通安全対策について
- ・地域防災計画の取り組みについて

### ふるさと応援寄附の現状と今後の活用について



石川 慶 議員

◎議員 平成二十九年度の目標額と現在の寄附金額について伺いたい。

◎企画部長 平成二十九年度の目標額は三千万円で、現在の寄附金額は、十二月十九日現在で千三百二十八万円である。

◎議員 十月十七日時点では百九十四万五千円であったが、現在は千三百二十八万円にふえている。どのような取り組みを行ったのか。

◎企画部長 九月十三日よりインターネットを活用した申し込みの受け付けを開始したことやクレジット決済が可能となったことに加え、市内特産品などを活用した返礼品の贈呈を行うなど全国に宜野湾市をPRする取り組みを行った。

◎議員 現在、本市の寄附金の事業区分は六つであるが、区分をふやし寄附者が市の事業に関わりを持つことで寄附額がふえると考えるが、いかがか。

#### ◎企画部長 事業

の趣旨や内容、成果をわかりやすく示すなど、共感が得られるよう調査研究してまいりたい。

#### その他の主な質問

- ・西海岸への期日前投票場設置について
- ・産業まつりについて
- ・宜野湾バイパス各交差点安全対策の現状と取り組みについて
- ・大山地区土地区画整理事業の進捗状況について

### 普天間飛行場の危険性除去及び早期閉鎖、返還の取り組みについて



我如古盛英 議員

◎議員 去る十二月十三日、普天間第二小学校の運動場で授業中の児童の十メートル付近に米軍ヘリが重さ七・七キログラムの窓枠を落下させた。事故原因と学校の現状を伺いたい。

◎基地政策部長 飛行前点検で安全ワイヤーが適切に固定されていないことを見落とし、飛行中に窓のレバーが誤って動かされたことが原因であり、人的ミスであったと伺っている。

◎指導部長 運動場は事故のあった十三日から使用しておらず、年内は使用しない予定である。

◎議員 全市民がショックを受けるような事故であるが、人的ミスとして済ませてよいのか。

◎基地政策部長 事故が多発しており、徹底的な原因究明と情報開示等を求めてまいりたい。

◎議員 運動場使用再開の時期を伺いたい。

◎指導部長 学校と協議してまいりたい。

◎議員 米軍には強い態度で臨み、安心して授業が受けられる状況を実現していただきたい。



CH-53Eヘリから普天間第二小学校へ落下した窓

### コミュニティバス運行事業の導入について



宮城 克 議員

◎議員 企業、個人協賛型のバスの取り組みについて、どのように検討したのか伺いたい。

◎市民経済部長 前回、議員からの提言を受け県内でコミュニティバスを運行している自治体へ協賛広告により運行費用を確保しているかどうか調査を行った結果、実施をしている自治体はなかった。今後、公共交通の方向性を研究する中で、財源確保の解決策の一つとして、企業や個人から協賛を募る方法も視野に入れ研究してまいりたい。

◎議員 各市町村でいろいろなバスが走っているが、北谷町の通称シーバスを把握しているか。

◎市民経済部長 シーバスの定員は十一名で、料金は中学生以上が二百円、小学生、障害者手帳、療育手帳保持者、六十五歳以上の高齢者等は百円で、実証運行は一括交付金を活用していると伺っている。

#### ◎議員 シーバス

のようなミニバスの利用も視野に入れ、コミュニティバス導入を再検討していただきたい。

#### その他の主な質問

- ・安仁屋地区の拝所の移設状況について
- ・普天間基地（ゲート4エリア）市民広場の整備について
- ・交通安全対策及び道路整備について

### 普天間基地の五年以内運用停止と早期返還の取り組みについて



知念 吉男 議員

**◎議員** 政府は普天間基地の五年以内の運用停止について、辺野古への基地移設が条件であると言っている。平成二十六年二月に行われた普天間飛行場負担軽減推進会議及び同作業部会で、辺野古への基地移設が前提となり、五年以内の運用停止が協議されたのか伺いたい。

**◎基地政策部長** 平成二十六年二月の普天間飛行場負担軽減推進会議及び同作業部会では、移設先について特に議論することはなかったものと承知している。

**◎議員** これまで政府はたびたび辺野古への基地移設が条件だと述べている。五年以内の運用停止の条件に辺野古への基地移設が含まれていないのであれば、市長はそうでなかったと、はっきりと答弁すべきではないか。

**◎市長** 推進会議

は負担軽減、危険性の除去について協議する場であるので特に移設先についての言及はなかった。

**◎議員** 移設が条件ではなかったと政府に対して訴えていただきたい。

#### その他の主な質問

- ・ 基地行政について
- ・ 介護保険制度の現状と取り組みについて
- ・ 市道の維持管理について

#### 総務常任委員会の所管事務調査

同委員会は、平成二十九年十一月十三日から十五日の間、県外において所管事務調査を実施した。

青森県八戸市では、ふるさと納税の取り組みについて調査を行った。八戸市では東京事務所を活用し、さまざまなイベントに参加し八戸市のPRに努めるほか、二戸市・八戸市・久慈市との三圏域連携による地域振興について説明がなされた。委員からは、寄附金の使途や返礼品の選定、三圏域連携効果について多くの質疑がなされた。

岩手県久慈市では、再生可能エネルギーを活用した全国初の波力発電実証調査事業について調査を行った。当該事業は文科省の補助金を活用した産官学連携事業で、実施主体である東京大学の丸山教授より発電施設の構造や設置場所の選定、電力地産地消の普及について説明がなされ、委員からは事業の費用対効果や市の役割などについて多くの質疑がなされた。



波力発電施設を視察する総務常任委員

#### 経済建設常任委員会の所管事務調査

同委員会は、平成二十九年十月三十一日から十一月二日の間、県外において所管事務調査を実施した。

山梨県南アルプス市では「景観計画について」、長野県大町市では「上下水道事業の統合について」それぞれ調査を行った。

南アルプス市においては、南アルプスの山々や果樹園など固有の景観を次代へ継承するため、平成二十三年一月に南アルプス市景観計画を策定しており、景観に対する市民意識の醸成等の取り組みを調査した。

長野県大町市の上下水道事業においては、平成二十六年四月一日に水道課と下水道課を統合し、上下水道課としたことにより経費削減や市民サービス向上などの効果を上げており、本市も平成三十年四月より上下水道事業の統合を予定していることから、先進事例として今後の参考となる取り組みを視察した。



大町市の水道水源を視察する経済建設常任委員

#### 福祉教育常任委員会の所管事務調査

同委員会は、平成二十九年十一月八日から十日の間、県外において所管事務調査を実施した。

春日市では、コミュニティ・スクール（学校運営委員会）を中心に学校・家庭・地域の連携、協働を推進し、子どもの教育を行うことで学校と地域の関係性の向上や学校の活性化、学力の向上などが図られていた。

大牟田市では、認知症コーディネーター養成研修やほっと安心（徘徊）ネットワークなど、六つの中核事業を通じた認知症の人を支える地域づくりや認知症介護の実態調査で得られた市民意見に対応することで認知症対策を進めていた。

宗像市では、潜在・新卒保育士の確保、保育士の無料紹介所開設、保育士等の家賃補助事業などを行い、待機児童解消に向けた保育士確保事業を行っており、それぞれ今後の参考となる取り組みを視察した。



認知症対策を視察する福祉教育常任委員

